

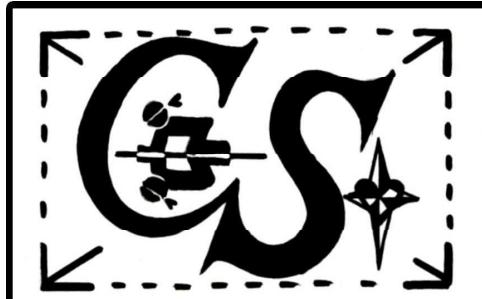
# 長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成26年6月7日(土) 号外

## 1 信州の夏といえば、清掃サミット！

今年で7回目となる「長野県中学校清掃サミット」が、7月27日(日)に長野市立松代中学校を会場に開催される。長野県の中学校には「無言清掃」をはじめ「自問清掃」「三昧清掃」「100年清掃」等、各校に根付いている伝統のお掃除がある。そうした熱心にお掃除に取り組んでいる学校の生徒たちが一同に集い、自校のお掃除自慢をしたり、各校の課題について意見交換したりする。部活動に県大会があるように、「お掃除の長野県大会」。それが「清掃サミット」である。



清掃サミットのシンボルマーク

### ～第1回清掃サミット(平成20年7月6日・長野市立豊野中)より～



篠ノ井東中整美委員長の発表



三郷中による掃除の実演



豊野中美化部三役による発表



先生方も入って本気の意見交換

- いろいろな学校のアイデアはとても参考になりました。東中の30分間清掃は色々な学校に「いいですね」と言われました。よかったです。(篠ノ井東中整美委員長3年Sくん)
- ほとんどの学校が「黙想」をやっていてビックリした。今は南宮ではやっていないので、今度試しにやってみたいと思った。(南宮中生徒会役員3年Nくん)
- 他校の活動の様子や特色をたくさん知ることができてよかったです。僕は登校中にゴミ拾いをするという三郷中の活動がいいと思ったので、整美委員長と話し合って実現できたらいいなと思いました。(中野平中生徒会副会長3年Kくん)
- 雑巾がけにこっている学校や伝統が受け継がれている学校多く、ビックリしました。東中でも伝統になるような掃除をつくっていきたいと思いました。(篠ノ井東中学校2年Oさん)
- 自分たちの学校の清掃しか知らないで、こういう機会があるととても勉強になってよかったです。(南宮中生徒会役員3年Tさん)
- 鍵山先生のお話では「工夫や改善をしていかないと継続していかない」と言う言葉が印象に残りました。清掃に限らず、生徒会活動等いろいろなことに言えるなあと思います。考えて、工夫して生活や清掃を向上させていきたいです。(豊野中生徒会長3年Nさん)

### ～第3回清掃サミット(平成22年8月8日・木島平村立木島平中)より～



など、山形県の中学生も参加してくれた！

午前中のトイレ掃除は、素手でやるのはあまり抵抗がなかったけど、中学では初めてトイレ掃除をしたので、色々と迷った。あまり汚れはなかったけど、水がたまっている所の黒ずんだ所が落ちにくくて疲れた。だんだんと周りとかどうでもよくなって、休憩の時間がイヤだった。早く掃除がしたかった。かなりハマってた気がする。すごい無心な状態だった。この落ち着いている時間が何か好きになった。もう少し長い時間やってみたいって気持ちが、終わりに近づくにつれて大きくなっていた。

午後の意見交換では、木島平中は他の学校より取り組みが甘いなって思った。他の学校と比べると、話についていけない感じだった。佐久中と比べたら全然違うし。山形県から来た東根一中のYさんは一人でもスゴイ頑張ってるので、木島平中は何人もいて、Yさん一人に及ばない感じだった。これから私たち2年生が生徒会を引き継いでいく番になるので、今より掃除がしっかりできる学校にしていきたい。(木島平中2年Kさん)

## ～第5回清掃サミット(平成24年7月29日・上田市立丸子北中)より～



7校から集まっているとは思えない一体感!

私は今回初めて、「清掃サミット」に参加しました。午前の部では、素手でトイレ清掃をしました。やっぱり初めの方はかなり抵抗がありました。しかし、だんだんきれいになっていく便器を見たら、掃除が楽しく感じられました。終わった後は、達成感があってすごく気持ちよかったです。また、日本を美しくする会の田中義人さんと鍵山秀三郎さんのお話を聴いて、花壇の草取りしたお話が心に残りました。ここだけきれいにしようと思ってやると、次もその次も、というふうにどんどんきれいにしたくなるという気持ちに共感したからです。鍵山さんの「社員の心の荒みをなくしたい」という思いから、トイレ清掃を始められて、私だったら10年もたった一人でできないと思います。10年も20年もトイレ清掃をして社員の心を動かしたことはすごいことだなと思いました。鍵山さんの言葉「目は臆病です。でも手には勇気があります。」「一つ拾えば一つだけきれいになる。」本当にそうだなと思ったし、私も大切にしていきたいことだなと思いました。

さらに午後の部では、参加校の掃除について聴きました。他の中学校では、川上中には活動をたくさんしていました。例えば、筑摩野中の服装の徹底、佐久中の三昧チェックカード。どの中学校も清掃にとても力を入れていることがわかりました。それに、意見を出し合うことで、他校から見た川上中の清掃のよさと課題を知ることができたことも良かったと思いました。

最後に、今回清掃サミットに参加して、100年清掃に取り入れたいことが見つかりました。例えば、佐久中の三昧チェックカードです。このカードを使えば、自分の清掃の反省もできるし、自分の清掃レベルが分かります。他にも、無言清掃の徹底、清掃の雰囲気づくりなどの活動も取り入れたいです。このように、他校の取り組みを取り入れることで、川上中の100年清掃がよりよいものになっていけるようにしたいと考えています。学んだことをしっかりと全校に伝え、課題を解決しながら川上中らしい清掃をつくりあげていきたいです。(川上中清美委員会副委員長3年Tさん)

## ～第6回清掃サミット(平成25年7月28日・高山村立高山中)より～



お掃除を終えた皆さんの笑顔、最高ですね!

私は、7月28日に高山中学校で行われた「清掃サミット」に参加しました。午前中は各中学校バラバラになり、8班に分かれてお掃除をしました。私は7人の他校の生徒と一緒に男子トイレを掃除しました。最初、私は「男子トイレ」ということで、少し戸惑いがあったし、今までかいだことのないような悪臭があったので、一気にやる気がなくなりそうになってしまいました。でも、私は「やるなら100%の力を出して、時間一杯真剣にやりたい」と思っていたので、自分が満足できるくらいピカピカに磨きました。

今回も素手で掃除をやりましたが、これをやる大切な意味も教えていただきました。手で触れることで汚れの様子がわかるし、しっかりとつかむことで「嫌だな。やりたくないな」という気持ちがふっとび、反対にやる気がでます。そして、トイレの気持ちも考えることで意欲が高められ、日頃あたりまえのように使っているトイレがありがたく感じることができます。これに気づいた時は、とても感動しました。清掃サミットでは、ただ掃除をするのではなく、掃除の意味、大切さ、やりがいなどを学ぶこともできるのです。担任の中村明史先生が私たちを何回も誘って下さる理由が、今回参加してやっとわかったような気がしました。私は今回が2回目の参加ですが、1回目は掃除をする楽しさしか感じることができませんでしたが、2回目でやっとお掃除の大切な意味を知ることができたのです。やはり、何回も繰り返し参加することで、奥深い事を習得できるのです。

私は今日、とても有意義な時間を過ごせたと思います。掃除の楽しさ、手で感じる大切さなどを知れたので、少し得した気分です。それに、磨き終わったトイレに「ありがとう」と言われたような気がしてとてもうれしかったです。私は、これからもこのうれしさを忘れずに掃除に力を入れていき、掃除の奥深いところまでどんどん発見していこうと思います。

それと共に「清掃サミットの良さ」を宣伝し、掃除が好きな人を増やし、『世界一美しい日本』をつくりていけるといいなと思います。(松代中2年・Nさん)

『世界一美しい日本』を…というNさんの言葉に、「はきものをそろえる」の最後の一節「そうすればきっと／世界中の人の心もそろうでしょう」に込められた円福寺の故・藤本幸邦老師の思いを見るようです。みんなで美しい日本を創りましょう！ご参加をお待ちしております。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(木島平中学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp